

## 9月25日成田英明元東京芸大教授を囲む勉強会での主な論点

### <東京芸大に絡む大学再編構想>

これまであった東京芸大を絡めた大学構想は以下の2案が話題となった。

東京大学との合併構想・・・東大の芸術学部となる

第二東大構想・・・例えば、東工大、一橋大、都立大などと東京大学に挑む新たな日本を代表する大学を目指す

\* 国際的には、東京芸大のように音楽系と絵画系からなる大学は珍しい。

東京芸大の中では、日本独特の現在の形を大切にしたいとして、合併により学部レベルになることには消極的な考えが有力。

\* 現在の最大の難点は、資金不足。東京芸大と言うわが国独特の芸術系大学を資金的にも支える知恵が求められる。

### <自主防衛への世論喚起>

わが国の安全保障はいかにして守るのか。アメリカへの依頼は危うい。自主防衛の覚悟が欠かせない。平和ボケのわが国の将来は危ない。

### <朝鮮半島の変化>

いかなる変化であってもわが国の安全保障に大きな変化を迫る可能性が迫っている。

マクロ的には、中国の影響力の拡大、米国の影響力の減少というトレンドとしての構造変化は迫っている。また、なんらかの理由で韓国からの米軍撤退する可能性は否定できない。

\* 経済関係はもちろん安全保障面でも韓国が中国の勢力圏に入る可能性は少なくない。

\* 朝鮮半島に何ならかの意味で統一政権が誕生した場合、核保有国の反日政権となる可能性が高い。

### <中国の膨張>

偉大な中華の復興は中国の悲願

その趨勢がわが国の安全保障と衝突する可能性が高い。

尖閣海域の実効支配が中国に奪われる可能性。さらには沖縄が何らかの意味で中国の攻勢にさらされる可能すら考えておくべきだ。

議論は尽きなかったが、少なくとも国民的な議論は欠かせない状況にある。